

G3北エリアタンク移送配管残水処理作業に伴う水漏れについて

2018年2月1日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

TEPCO

◆事象概要

- 撤去予定の配管の水抜き作業（V463フランジ部より）のため、受けパンより仮設タンクに配管内部の汚染水（RO濃縮塩水）を移送する作業を実施。
- 配管水抜き作業後、使用した仮設ホースを片付け中に仮設ホース内部の水が道路に漏洩した。このため直ちに汚染拡大防止の処置を実施。
- その後、片付けたホースの下部の道路にも漏えい跡が確認されたことから、前記と合わせて除染を実施した。漏えいした箇所は堰外ではあるが、側溝には流出していない。
- 漏えい量・漏えい水の分析結果

漏えい水：RO濃縮塩水

漏えい量：7 L

Cs-134：2.175E+03 (Bq/L)

Cs-137：1.584E+04 (Bq/L)

全ベータ：4.760E+07 (Bq/L)

◆時系列

平成29年12月26日（火）

14:00頃 水漏れ発見

14:03頃 復旧班長へ連絡

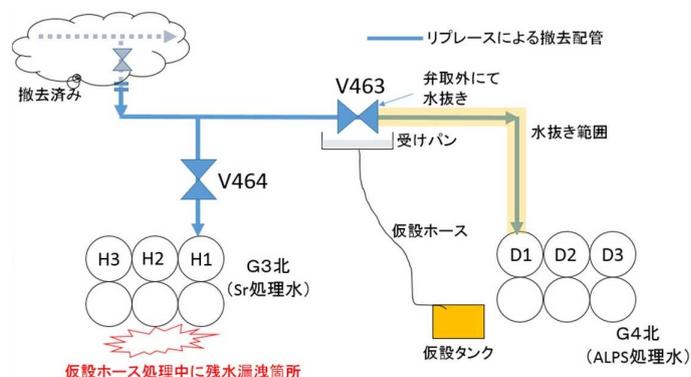
17:20 漏えい箇所ジェット洗浄除染開始

19:00 漏えい箇所ジェット禅定除染終了。飛散防止養生設置開始

19:50 飛散防止養生設置完了

平成29年12月27日（水） 塗膜剥離型除染材アララSD塗布等除染

平成30年1月19日（金） 飛散防止養生撤去



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

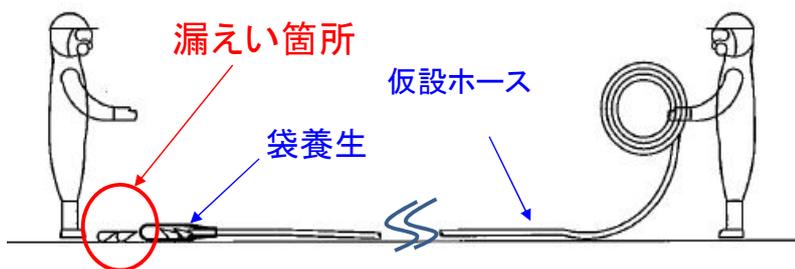
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

【漏えい1】

移送に使用した仮設ホースの端部を袋養生（ポリ袋二重）し、丸めながらホース内残水を袋に集めようとした際、袋養生に穴あきがあり水漏れに至った。

【漏えい2】

仮設ホース等を保管する資材ラックの地面についても、漏えい跡が確認された。

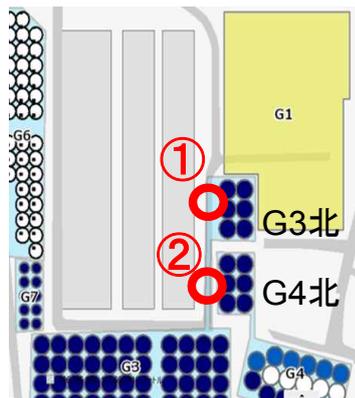


【漏えい1】
仮設ホース端部水漏れ状況



【漏えい2】
仮設ホース保管状況写真

3. 発生場所／4. 原因



① G 3 北側
漏えい箇所
(仮設ホース端部漏えい)



② G 4 北側
漏えい箇所
(資材ラック前)



仮設ホース
袋養生

【漏えい1：図①】

養生用ポリ袋の穴あきの原因は、撤去配管残水移送後から仮設ホースの移動開始までの間、ホース端部をポリ袋で養生し、固定用番線を用いて足場パイプに固縛したところ、ポリ袋が風にあおられて、番線の先端部に突き刺さったことで損傷したものと推定される。

【漏えい2：図②】

漏えい1後、当該ホース端部へ再養生を行い、資材仮置きラックに移動させたが、ラック内の仮置き方法が不十分（ホース端部を残水受けの無い状態で上向きに仮置きした）であったため、養生の隙間から汚染水が滴下し、資材ラック下の道路を汚染させた。

- ① 仮設ホースの端部養生はポリ袋のみではなく、閉止栓の取付を行うとともに養生部に遊びが出ないように巻き付けを行う。・・・図1 参照
- ② 汚染水残水の受けはポリ袋では行わず、仮設容器（バケツ、タンク等）を使用する。
- ③ 汚染水を扱う場合は堰内（仮堰を含む）にて作業を行うこととする。
- ④ 汚染した資材の仮置きはバケツ等の残水受けを設置、または仮堰を設置する。・・・図2 参照

上記①～④について当該工事要領書へ追記を行うとともに、耐圧ホース運用ガイドへ反映を行う。

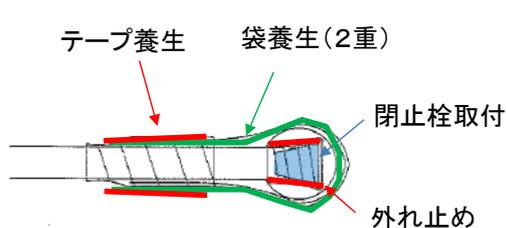


図1

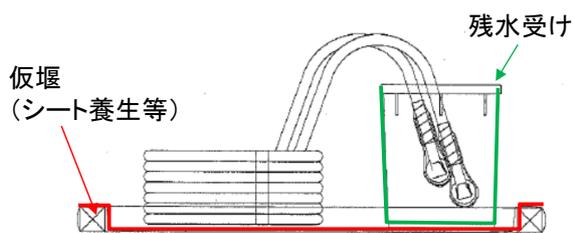


図2